

市長コラム

てっちゃんのひとりごと

特別編vol.1

ー荻野吟子、郷土の誇りを全国へー

「困難を乗り越えた先駆者」



鹿鳴館スタイルの吟子

埼玉ゆかりの三偉人「荻野吟子」さんは、嘉永４年（1851年）、現在の熊谷市俵瀬に生まれました。幼い頃から学問を愛した吟子さんは、女性が医師になる道が閉ざされていた時代に、数々の困難を乗り越え、日本初の公許女性医師となりました。医師としての活動にとどまらず、北海道での開拓や女性の地位向上に尽力した、まさに時代の先駆者でした。

令和８年３月26日（木）、『日本で最初の公許女性医師「荻野吟子」顕彰推進協議会』が設立されました。行政・教育・経済・医療・地元顕彰団体などの関係者が、ゆかりある自治体、団体とも連携し吟子さんの知名度向上を目指します。既にシンポジウムや学習マンガの発刊、演劇やオペラなど様々な団体が多彩な事業実施に向け活動を開始しており、将来的にはNHK朝ドラ化という大きな目標にも挑戦したいと考えています。



顕彰推進協議会設立総会の様子

「社会を涙と堕落の淵より救うため、誰かがこの大任にあたらなくてはならない。言い出した私が始めよう。あらゆる困難に立ち向かい、倒れるまで進もう。他の人を待つことはできない。」これは吟子さんが晩年、医師になる決意を語った一節ですが、吟子さんの生き様は、現代を生きる私たちに力強いメッセージを届けてくれます。